

2020年度入社式 社長メッセージ

皆さん お早うございます。社長の横山です

まずは、ネクスコ東日本エンジニアリングへの入社、誠におめでとうございます。会社を代表して、皆さんの入社を心から歓迎いたします。

ようこそ、ネクスコ東日本エンジニアリングへ

令和2年、西暦2020年となります今年、我が国にとりまして、東京オリンピック・パラリンピックが開催される記念すべき年でありましたが、年初からの新型コロナ・ウイルス感染症の世界的な流行で騒然とした幕開けとなりました。現在も、全世界で感染が拡大し、未だに先行きが見通せない状況であり、オリンピック・パラリンピックについては、年内開催を見送り、来年夏までの開催を目指すこととなりました。

さらに、感染爆発の重大局面であるとして、首都圏の各知事から移動自粛要請が出される状況に至りました。こうした中、入社式と研修をどうするか、ぎりぎりまで社内で議論しましたが、移動自粛要請下の首都圏での実施は難しいと判断し、本社での入社式は中止、研修については延期することといたしました。

皆さんにとって大事な記念となる本社での入社式を中止せざるを得ないことは、大変残念ではありますが、本日1名も欠けることなく入社の日を迎えることができたことを何よりとし、このようなWEBでの訓示とさせていただきました。

波乱・激動を予感させるこの歴史的な年に、澁刺としたフレッシュな44名の皆さんを、共に進む新たな仲間として、当社に迎えることができたことを、何よりも大変うれしく、そして心強く思っています。

このように国内のみならず全世界が混乱している中で、人生における新しい第一歩を踏み出すということで、不安な気持ちでいる方も多いかと思えます。私たちの会社はいついかなる状況下にあっても高速道路を安全・安心に利用できる状態に保つことが使命です。こういった時にこそ、私達が平常心で業務を遂行することで、安全に、確実に通行できる環境を維持することにつながります。今日からは皆さんも、当社の一員として、落ち着いて目の前のことに集中することを心掛けてください。

さて、当社の事業概要や現在取り組んでいる課題などについては、すでに皆さん自身でも勉強されてきたでしょうし、これからの研修の場あるいは配属先で上司や先輩からも聞くことになると思いますので、私からは、今日から、社会人として新たな一歩を踏み出す皆さんに対して、お願いしたいこと、期待することを述べさせていただきたいと思います。

昨年、日本でラグビーのワールドカップが開催され、日本中が熱狂しました。私も、にわかラグビーファンとなり、TVではありますが観戦し、大変感動いたしました。何が日本中の人々をあれほど感動させたのでしょうか。もちろん日本の活躍は本当に素晴らしかったですが、それだけでしょうか？

ラグビーというスポーツを通して、「ラグビー精神」をみんなに分かち合えた、「感じる」ことができた、だからだという人がいます。

そもそも「ラグビー精神」って何なんでしょう？

実はラグビーはその行動規範となる「ラグビー憲章」の中で、変わることなく守るべき5つの精神を掲げています。昨年来、様々なところで取り上げられているので、知っている人もいるかもしれません。

それは、「品位」、「情熱」、「結束」、「規律」そして「尊重」の5つです。

この精神をバックボーンとするスポーツであるがゆえに、ラグビーが大きな感動をもたらしているのだと思います。一つの目標に向かって、チームが一丸となって取り組むために大切にすべきものだと考えれば、これからの皆さんの仕事においても、是非この5つの精神を大事にしてもらいたいと思います。

第一に「品位」そして「規律」です。「品位」とは、誠実、真摯、高潔であること、「規律」とは文字通り規則を守ること、つまり「フェアプレイに徹し、悪いことはしない、ずるはしない、社会のルールは守る」ということです。皆さんがこれから会社の中でたびたび耳にすることになる「コンプライアンス(法令遵守)」という言葉につながる精神です。

新入社員の皆さんを含め、わが社の役員・社員全員一人ひとりが、ネクスコ東日本

グループというブランドを背負っています。社会人としての自覚と、わが社の社員・ネクスコ東日本グループの一員である、という誇りを持って、規律正しい人生を歩んでいただきたいというお願いです。

悪いこと・ズル、というのは、何も法律に反することだけを言っているのではありません。ご両親やご家族、友人に、胸を張って説明できないような行動はしないように、ということです。今日から皆さんは、社会人となったわけですので、もう甘えは許されません。常識ある社会人・大人として、高い倫理感をもった人間として、行動することを第一に期待します。

次に「情熱」です。言葉通り、情熱をもって仕事に取り組んでほしいということです。

私たちは「高速道路」という社会の極めて重要な基盤となるインフラシステムの保全管理業務に従事しています。高速道路のあらゆる保全管理(メンテナンス)は、私たちが担当している、「点検」と「診断」に基づいて行われています。私たちは日夜、高速道路の安全と安心を守る、高速道路のホームドクターであり、技術のプロフェッショナル集団として、社会を下支えしています。

いわば、私たちは、お客さまの生命をお預かりしているといっても過言ではない、極めて重要な仕事を担っているのです。このことをあらためて認識していただき、緊張感、責任感、そして何よりも情熱と誇りをもって、事に当たっていただくことをお願いします。

情熱を持つためには、まず、知らなければなりません。人は興味のないことは勉強する気持ちになれないし、そもそも無理やり勉強してもその知識は身につかないと思います。何事にも好奇心を持ち、いつでも学ぶ姿勢を忘れずに積極的に学習することで、自らの頭で考え、主体的に行動する力と、自らの仕事への情熱を育んでください。

最後は「結束」と「尊重(リスペクト)」です。わが社の仕事も、ラグビーと同様に、一人でやるものではなく、チームでやるものです。したがって、チームワークつまりチームが結束することが極めて重要ですし、そのためにはお互いを尊重(リスペクト)することが不可欠となります。

今年の当社の年頭の挨拶でもお話ししたのですが、聖徳太子の「和をもって尊しとなす」という言葉にあるように、日本人は古来、「和の精神」を重んじてきました。ここでいう「和」とは、人と対立することを避けて、表面的に仲良くやっていくという意味での「和」ではありません。まず皆が自由に正直に話し合い、お互いの意見や価値観に違いがあることを認め、その違いを尊重したうえで、共通の目標のために協力し合うという、相違や対立の存在を前提とする「和」であると言われています。チームで仕事をするにあたっては、この「和の精神」こそが最も大切です。

お互いが相手の立場に立って考え、相手を尊重(リスペクト)する気持ちと感謝の気持ちを持って接することにより、初めて、人と人の繋がり・良いコミュニケーションが成立し、チームとしての「結束」が生まれるのです。

この相手を尊重する気持ちは、これから、皆さんが仕事をするにあたって、また、社会人として生活していく上で、付き合うことになる様々な人たちにも是非広げてほしいと思います。相手に「敬意」と「誠意」を持って接することで気持ち良い人間関係を構築してほしいと思います。

もう一度思い起こしてほしいのですが、ワールドカップで見たラグーマン達は、今、お話しした 5 つの精神が徹底して刷り込まれているので、ちょっとした行動や一言にもさりげなくその精神を垣間見ることができる、だからこそ、見るものを感動させたのだと思います。皆さんも是非そういった社会人を目指してほしいと思います。

わが社は、社員をかけがえのない唯一無二の財産とする会社です。社員の皆さんが主役となって技術で勝負する会社でもあります。従って社員一人一人の成長が、そのまま会社の成長に繋がる、そういう会社です。当社の経営方針(NEE が目指す姿)の一つに「社員の夢の実現を積極的に応援することにより、チャレンジングな会社を目指す」ことを掲げて、社員の皆さんの、様々なチャレンジや取組を応援しています。

皆さんは、将来に対する大きな夢や希望を抱いて、この会社に入社し、今日という日を迎えていることと思います。皆さんの夢を実現することが、わが社の成長に繋がる

はずです。是非、夢の実現に向けて、失敗を恐れず、困難に挑み続けてください。

今日はラグビーの行動憲章の話をしました。実はわが社にも行動憲章というべき言葉があります。

「Good road Good people ～快適な道路を 信頼できる仲間と～」

これが当社の行動の道標(みちしるべ)です。

こうした状況下での新たな生活ですから、不安や悩みも多いかと思いますが、自分一人で抱え込まず、何でも職場の先輩や上司の方々～皆さんの仲間となる方々に相談しながら、まずは目の前の仕事を覚えることに努力してください。

皆さんと手を携えて、社会に信頼され、期待されるエンジニアリング会社として、さらに成長していきたいと思えます。

我が社をさらに良くしていくのは皆さんの若々しい力であり、わが社の将来は皆さんの手に託されています。

健康に留意し、研鑽に励み、人間的にも大きく成長され、大きく羽ばたかれることを期待して、私からの訓示とします。皆さんの会社です。大いに頑張ってください。本日はおめでとうございます。

以 上